

公益社団法人日本地下水学会
2026 年度定時代議員総会 議事録

1. 開催日時：2026 年 5 月 23 日(土) 15：00～16：10
2. 開催場所：京橋プラザ区民館 1 号室および Web 会議併用
3. 代議員総数：22 人
4. 出席代議員数および氏名、出席形態

出席 14 人 欠席 8 人

○：現地出席、㊦：Web 出席、－：欠席

代議員(22名)							
愛知 正温	㊦	井川 怜欧	㊦	石川 昌信	㊦	浦越 拓野	㊦
岡田 一樹	－	柏谷 公希	㊦	神谷 浩二	－	黒沼 覚	㊦
齋藤 光代	㊦	品川 俊介	－	杉本 映湖	－	杉山 歩	－
高本 尚彦	㊦	田部 一憲	㊦	千葉 知世	－	土原 健雄	㊦
野原 慎太郎	㊦	坂東 和郎	○	日比 義彦	○	藤井 光	－
細野 高啓	－	藪崎 志穂	㊦				

委任状（議長へ委任）受領者

6名：岡田 一樹、神谷 浩二、品川 俊介、杉山 歩、千葉 知世、細野 高啓

5. 出席役員（理事、監事）数および氏名、出席形態

理事 出席 15 人

○：現地出席、㊦：Web 出席、－：欠席

公益社団法人 日本地下水学会 理事(15名)							
遠藤 崇浩	○	久保田 富次郎	㊦	阪田 義隆	○	杉田 文	○
瀬尾 昭治	○	高木 一成	○	竹内 真司	○	辻村 真貴	○
中川 啓	○	西田 憲司	○	増岡 健太郎	○	宮越 昭暢	○
山中 勝	○	吉岡 真弓	○	吉田 広人	○		

監事 出席 2 人

○：現地出席、㊦：Web 出席、－：欠席

公益社団法人 日本地下水学会 監事(2名)							
高坂 信章	○	五藤 幸晴	㊦				

6. 総会の成立

議長は、上記のとおり定足数に足る代議員の出席があったので開会を宣し、下記の通り議事に入った。

7. 議長：日比 義彦 代議員

8. 議事録作成者：増岡 健太郎 総務委員長

9. 代議員総会資料

2026 年度 定時代議員総会 議事次第

資料-1「2025年度 事業報告書」

資料-2「企業冠賞規程（2025年11月1日 制定 2026年4月1日 施行）」

資料-3「表彰規程（2025年11月1日 改定 2026年4月1日 施行）」

資料-4「2025年度 決算報告書」

資料-5「2025年度 監査報告書」

資料-6「名誉会員について」

資料-7「2026年度 事業計画書」

資料-8「2026年度 収支予算書」

参考資料1_「定款」

参考資料2_「施行細則」

10. 議事の経過の要領およびその結果

定刻になり、増岡健太郎総務委員長より、議長が決まるまでの間の進行を務める旨の発言があり、続いて Web 会議における質疑応答の仕方、採決の方法についての説明があった。

開会が宣言され、杉田文会長の挨拶に続いて議長の選任について代議員に諮ったところ、満場一致をもって日比義彦代議員が議長に選任された。

日比義彦代議員は議長席に着き、議事録作成者として増岡健太郎総務委員長を提案し、代議員の承諾を得て指名した。

増岡健太郎総務委員長より 6. のとおり総代議員の議決権数の過半数に相当する代議員の出席もしくは委任状があるので本会は適法に成立しているとの報告を受け、直ちに議事に入った。

【報告事項その1】

<2025 年度 事業報告>

- ・議長の指名により、増岡健太郎総務委員長から資料-1 に基づき 2025 年度事業報告があった。

<規程の制定、改定について>

- ・議長の指名により、増岡健太郎総務委員長から資料-2, 3 に基づき規程の制定および改定について報告があった。代議員と理事の質疑応答を以下に記す。

代議員：企業冠賞規程第 3 条で、対象者に正会員を含めている理由は何か。学生は準会員ではないのか。

理事：準会員が卒業した後、受賞のタイミングで正会員になっている可能性があるため。

代議員：承知した。ただし、規程文の「学部および大学院博士前期課程（修士課程）の正会員または準会員」の表現であると“修士課程の社会人”と読める。

理事：場合によっては社会人修士課程の人も存在する。

代議員：その場合、本学会は正会員と準会員のどちらになるのか。

理事：当該者に任せているような状況。明確な決まりはない。

代議員：承知した。

理事：理事会で企業冠賞規程第3条の文章修正の可否を検討し、修正すべきとの判断となれば、当該規程の改定を検討する。

代議員：承知した。

【審議事項その1】

第1号議案：2025年度（公益法人第16期）決算承認の件

- ・議長の指名により、西田憲司会計委員長から資料-4に基づき2025年度決算報告書について貸借対照表、損益計算書、貸借対照表及び損益計算書の附属明細書財産目録などに関する報告があった。引き続き、高坂信章監事から資料-5に基づき事業報告及び計算書類等のいずれも適切な執行、処理がなされていることを確認したとの監査報告が行われた。
- ・Web会議出席者についてはオンライン投票により、現地参加者については挙手にて賛否を審議した。賛成が過半数に達していることを議長が確認し、2025年度決算が承認された。

【審議事項その2】

第2号議案 名誉会員承認の件

- ・議長の指名により、瀬尾昭治副会長兼表彰委員長から資料-6に基づき2026年度の名誉会員候補者2名について説明があった。
- ・Web会議出席者についてはオンライン投票により、現地参加者については挙手にて賛否を審議した。賛成が過半数に達していることを議長が確認し、2026年度の名誉会員2名が承認された。

【報告事項その2】

<2026年度 事業計画>

- ・議長の指名により、増岡健太郎総務委員長から資料-7に基づき2026年度の事業計画について説明があった。

<2026年度 予算>

- ・議長の指名により、西田憲司会計委員長から資料-8に基づき2026年度の収支予算について説明があった。

代議員：公3の1『研究グループ活動』に関して、「分かりやすいデータベースとなるよう更新していく」とは具体的にどのようなことを考えているのか。

理事：国や自治体が発行している、または公開している出来るだけ多くの情報を、カテゴリ分けして整理することを考えている。

代議員：閲覧していると報告書のリンクが外れていることがある。災害時の地下水利用のガイドラインで掲載されている地下水情報とは未だリンク付けなどされていないと思われるが、今後、災害用井戸への取組が増加することも考えられる。当該井戸に関係する学会が所有するデータを発信するなど、学会としても同取組みに協力していくことが良いと思う。

理事 :更新時にはリンクの確認は行っているのですが、改めて更新作業の必要性を確認した。
災害時の地下水利用についても意識しながらデータ整備を進めていく。

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は16時10分に閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し議長及び議事録作成者が次に記名押印する。

2026年5月25日

公益社団法人日本地下水学会 代議員総会